

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用しております。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末の退職給付債務に基づき、必要と認められる額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しております。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建物	2,042,798	2,042,796	2
建物付属設備	4,949,210	4,865,690	83,520
構築物	12,776,952	12,694,240	82,712
機械装置	12,172,930	11,572,083	600,847
車両	3,841,357	3,749,696	91,661
什器備品	9,597,859	8,414,730	1,183,129
ソフトウェア	702,000	702,000	0
合 計	46,083,106	44,041,235	2,041,871